

会議結果報告書

1	会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（松林地区）
2	日時	平成 30 年 5 月 25 日（金）14：00～16：00
3	場所	松林公民館 第 2 会議室
4	出席者	（資源循環課）森岡副主査、水本主事 （環境事業センター）林所長補佐、安斎担当主査、原田技能労務統括主査、山口技能労務統括主査 （松林地区）参加人数：17 人
5	内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●課題解決に向けた取り組みとして、啓発ということが言われているが、自治会に加入していない人への啓発はどのようにおこなうのか。 →広報紙やごみ通信、ホームページなどの広報媒体を通して積極的に周知を行っていきたいと考えている。</p> <p>●有料化について、市としてはいつ頃からを予定しているか。 →何年度からということとは決まっていないが、今年度、このような意見交換の場で市民の皆様からご意見を頂戴し、来年度当初を目途に市の方針を決定する予定である。有料化を実施することとなれば、そこから数年のお知らせ期間を経てからのこととなると考えている。</p> <p>●実施する方向ですか。 →実施するかどうかはふくめ検討中である。</p> <p>●有料化について、自治会内で会議を開こうという話になっているが、市の職員が来て説明をしてもらえるのか。 →市民の皆様にも、本日と同様の説明をさせていただき、意見交換会を実施していきたいと考えている。</p> <p>●意見交換会は、自治会の役員だけでなく組長も集めたほうがいいと思っているが、なかなか集めるのが難しい。 →ご要望があれば何度でも出向いてご説明させていただきたいと考えている。</p> <p>●戸別収集は可能なのか。 →実際に藤沢市では戸別収集をやっているのだから、可能ではある。ただし、道路事情等、藤沢市と違う点もあるので、検討していく必要がある。</p>

●戸別収集が始まったら、環境指導員は必要なくなるのでは。

→藤沢市にも、茅ヶ崎市の環境指導員と同様の非常勤嘱託員がいるが、戸別収集導入時に人数を少しずつ減らしていった経緯がある。藤沢市では、戸別収集の品目を燃やせるごみ・燃やせないごみ・プラスチック製容器包装類から始め、段階的に追加していった背景がある。集積場所は資源物の置場として残したため、茅ヶ崎市でいうところの環境指導員の役割が全くなかったわけではない。茅ヶ崎市も、このことをきっかけとして、環境指導員の制度のあり方を考えていく必要があると考えている。

以上